

株式会社 ふくや

- | | |
|------------|---------------------------|
| ・本社所在地 | 福岡市博多区 |
| ・業種 | 製造業 |
| ・事業内容 | 味の明太子の製造・販売 各種食料品の卸・小売 |
| ・設立年 | 1948年 |
| ・従業員数 | 579人 |
| ・テレワーク導入部署 | 営業部お客さまサービス室 |
| ・テレワーク導入対象 | 1人 |



テレワーク導入のきっかけ

障害者の身体的負担の軽減の手段として活用

車椅子の障害者をパートで雇用(6時間勤務)していたが、長時間、車椅子に座ったままの仕事は身体的に厳しく、勤務の途中で横になって休息をとる必要があった。また、通勤の負担も軽減したいと考えたためテレワークの導入に着手した。

テレワークによる課題解決の方法

リモートアクセス利用による安全な在宅勤務環境

- ◎ 在宅でできる業務の切り出し
→ 返送されたお客様アンケートの内容をパソコンにデータ入力する作業など在宅でできる業務の切り出しが進んだ。
- ◎ 業務上の指示や報告はメール中心(必要に応じて電話も利用)、週1回の入社時に上司や同僚と対面コミュニケーションを確保
→ 在宅勤務でも十分に意思の疎通が図られる工夫をした。
- ◎ リモートアクセスツール「マジックコネクト」を利用
→ 会社パソコンを遠隔操作できるだけでなく、セキュリティ対策も向上した。





テレワーク導入に関する感想・評価

◆企業担当者の感想◆

柔軟な働き方を取り入れて、より働きやすい職場に

在宅勤務は、仕事の内容によっては有効な働き方ですが、業務の進捗管理や情報セキュリティの問題など、検討すべき課題もあります。現在の運用は大変順調で、在宅勤務者にとっても身体的負担が軽減したことで、従業員満足(ES)も高まっているようです。

今後、運用方法などをさらに工夫して、より働きやすい職場になるような取り組みを検討していきたいと考えています。

◆テレワーク導入のポイント◆

テレワークはダイバーシティの強力な味方

テレワークの導入により、障害者や高齢者、健康に不安を感じる人なども働き方が広がります。テレワークは、多様な人びとの活躍を可能にするダイバーシティの強力な味方といえるでしょう。

テレワーク導入までの道のり

- 2006年 2月 雇用開始
- 2012年 1月 在宅勤務導入検討を開始
- 2012年 4月 在宅勤務開始

導入ツールとコスト(概算)

合計 34,650円(初年度年額)

- リモートアクセスツール
 - ・マジックコネクト(USBキー) 15,750円(初年度のみ)
 - ・マジックコネクト(利用料) 18,900円(年額)